

平成 23 年 1 月 20 日

ラオスの電力セクター

ラオス電力公社 (EDL) の統計によれば、2005～2009 年の 5 年間に於ける、ラオスの国内電力需要の平均増加率は 16.2% である。2010～2020 年電力開発計画では、電力需要の平均増加率を 21% と見ている。ラオス国内での最大電力需要は 2010 年の 559MW から、2020 年には 2,905MW に増加すると見込まれている。この間の平均増加率は 18% である。世界経済の減速にもかかわらず、ラオスの電力需要の伸びは著しいものがあると見られている。

2010～2020 年電力開発計画では、将来の国内需要を満たすために、さらにタイ、ベトナム、中国などの輸出需要に対応するために様々な代替策を提起している。

ラオスの発電設備容量(供給可能電力)は、2010 年には 1,917MW であるが、2020 年には 24,022MW に達すると予想される。2020 年の時点では、供給の 85% が輸出用と見込まれている。

2010 年 11 月現在の発電設備容量合計は 1,917MW であるが、その内訳は EDL-General が 387MW (20%)、残りの 1,530MW は EDL が一部持分を持つ独立発電事業者(IPP)が 166MW(9%)、それ以外の独立発電事業者が 1,364MW (71%) である。

ラオス政府は、ラオスの電力セクターが、海外への輸出および、規模は小さいものの伸びが著しい国内需要、を伴った大規模プロジェクトへ発展する機会があると認識している。EDL の見通しでは、メコン川本流を除いたラオスの水力発電の供給可能電力は 24,000MW に達するとしている。ラオスは GMS (Greater Mekong Sub region : 拡大メコン経済圏) の国々の中でもエネルギーの供給国として位置づけられており、電力セクターは国家の重要な収入源になる可能性を持っている。

(出所) EDL-Generation Public Company IPO 目論見書

### ラオス国内電力需要の推移

	2005	2006	2007	2008	2009
国内需要増加率 (%)	12.00	10.02	16.72	21.52	20.50
国内販売量 (GWh)	1,011.06	1,112.40	1,298.41	1,577.86	1,901.29

### ラオス国内最大電力需要予測

	2010	2012	2014	2016	2020
国内電力量 (MW)	559	765	1,600	2,730	2,905

### 各国供給可能電力量 (2010年11月現在)

	単位: MW
韓国電力公社	72,491
東京電力	62,825
中国華能電力	33,270
中国大唐発電	25,000
香港 CLP	18,000
タイ電力庁	15,021
香港華潤電力	12,981
マレーシア TNB	11,296
マレーシア YLT	4,739
タイ ラチャブリ発電	4,377
タイ EGCO	3,968
香港 HKE	3,755
ラオス全体現状	1,917 (2010年)
タイ GLOW	1,860

ラオス全体 24,022MW (2020年)

(出所) EDL-General Public Company、IPO目論見書